

<人気講座を持つ大学院教授にお話を聴きましょう!!!>

2019年1月12(土)、弊社本社にて研究開発者向け

講演会を開催しました。

この度、東京大学大学院理学系研究科(物理学専攻)上田正仁教授のご厚意により講演会を開催しました。

弊社第14次中期経営計画の第1の柱は、新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入です。特に研究開発者は、常日頃から持ち場にて創造力、好奇心、事業創出等をキーワードに努力しています。今回、思考力を増強するためには日頃からどのような工夫をすればよいのか、独創的な考えを思いつづためのシステムティックな方法はないのかを考えるという趣旨で、「研究開発のための考える力の鍛え方」をテーマとした元気の出るようなご講演を頂くこととしました。

溝口社長、役員および数多くの社員約50名がWeb会議形式を含めて参加しました。また、後半の質疑応答でも1時間程度の熱い議論が続きました。こうしたやり取りの中でも、特に、「分からない」は、「どこが分からないか分からない状態」から「ここが分からない」に変えていきましょうという基礎にあるポジティブな考え方、取り組みが印象的でありました。

上田正仁教授のご支援、本当にありがとうございました。

<講演会の様子>



〈上田教授のご紹介〉

上田 正仁 教授 (うへだ まさひと)

1963年大阪市生まれ。東京大学大学院理学系研究科(物理学専攻)教授。専門は原子気体のボース=アインシュタイン凝縮の理論的研究、および、量子情報・測定・情報熱力学。

1988年、東京大学理学系研究科修士課程卒、博士(理学)。NTT基礎研究所研究員、広島大学工学部助教授、東京工業大学教授等を経て、2008年より現職。2012年、2013年に東京大学駒場キャンパスの教養課程で「基礎方程式とその意味を考える」を開講。

大学に入学したばかりの1、2年生を対象にこれから進むべき指針となる「人生の基礎方程式」を説き、自由闊達に質問が飛び交う対話形式の講義は心揺さぶられ、ためになる授業として大きな反響を呼んだ。

著書は、「東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方」、「東大物理学者が教える「伝える力」の鍛え方」等。

以 上